

五
奉仕當番
吉 林
村 姉、高
姉、高
木 橋
姉 兄

日曜禮拜次第 十時十五分

【説】「神人交流の途」 谷 本 牧 師

奏 樂（靜思） 畑とみよ 姉

國民儀禮

誦 經 五六六

使徒信經 五九四

讚 美 歌 一四四

祈 禱 文 六

聖 詠 五八七

讚 美 歌 三四一

説 教 三二三

讀 金（着席の儘）

報 告 五六八

頌 讚 禮 拜 當 番

後 祝 奏 禮 拜 當 番

皇紀二六〇三年 昭和十八年 五月三十日發行
牧 師 廣 島 市 上 流 川 町
牧 師 館 三 四 一 三 七 名
面 接 日 於 牧 師 館

日本基督教團 禮拜の樂 廣島流川教會

【彙 報】 今週の記念

【永眠】 川合鏡治兄（昭和十三年六月二日）

◇日本基督教團立神學校認可さる

久しく待望せられてゐました神學校合同問題も首尾能く解決し日本基督教團神學校財團の下に専門學校令に依る。

日本東部神學校（在東京元日本神學校）

日本西部神學校（在西宮元關西學院神學部）

日本女子神學校（在東京元青山學院神學部）

の三校設置を文部省に申請中の處三月三十一日附を以て認可せられ、去る五月十九日東京に於て神學校開校式が盛大に舉行されました。

「教會完全合同」は機構上の合同や財政上の合流のみでは果されません、信仰の統一こそ根本であります。同じ信仰より出で神音戰線に生死を共にする戦友愛によつて初めて完全の結束が實現されるのであります、このために敎團敎師の養成機關が先づ以て整備されゆくのを慶びます。

◇昭和十八年の標語

「汝の内に得たる神の賜物をますます熾にせよ」 テモテ後書一章六節

五月婦人會當番 筒 鶴 姉、光 田 井 姉 姉

本 日 西村兄、林 兄 龜高姉、澤野姉
禮拜當番 宮島兄 神谷姉

今夕の傳道 【於小講堂】 午後七時半

傳 道 說 教

「山上の垂訓講解」(第一回) 谷 本 牧 師

新讚美歌指導 新田 先生

今週の集會

◇祈 禱 會

六月二日(水) 午後七時半 司 會 谷 本 牧 師

◇婦人會特別集會

講 師 前駐佛大使 澤田氏令夫人
時 日 六月二日(水) 午後一時三十分
場 所 當教會社交室

◇前 週 回 顧

禮拜「怒に燃ゆ」 男 女 計
夕 拜 休 會 一 五 七 六 名
禮 拜 林 長 老 四 三 七 名
受 洗 感 謝 獻 金 五圓六拾五錢
禮 拜 獻 金 高 島 タツ子 姉

【教 友 消 息】

◇小黑薰兄 去る廿二日女兒御誕生純と命名、母子共に元氣です。

◇本田牧師 去る廿二日御家族と共に福岡に無事御着任。お住ひは 福岡市藥院福岡女學校々内校長住宅です。

◇谷本牧師 途中列車事故のため赴任の時刻は遅れましたが、廿二日午前二時安着致しました。赴任に先だち左の前任諸先生がたを訪ねました處皆様に呉々もよろしくとの御傳言を受けました。

◇釘宮先生 少し健康を害なはれてゐらつしやいましたが、依然御活躍なされつゝあります、近い將來ハミル館を甲東園に移轉して幼稚園と教會を建てる準備中です。

◇日野原先生 お元氣で教會に溫い心を盡して居られます。

◇宇留賀先生 令夫人亡きあとの御不自由を忍びお手傳ひなき時は自炊すらなさり乍ら尊い傳道に勵んでゐられます。

◇松本院長 全國女子專門學校長會議より廿七日御歸廣、直ちに學院理事會を開催されました。
◇田中榮子姉 此度廣島修道院保母をやめられ呉市堺町二丁目御轉住されました。

來 週 平 岩 兄、鶴 兄 柴 山 姉、吉 村 姉
禮拜當番 塩 治 兄、高 木 姉

▽牧 師 谷 本 清